

## 特別科目（6年次生）

- (1) 歯科医療管理学 . . . . . 262
- (2) 基礎歯学輪講 . . . . . 264
- (3) 高次口腔医療学 I～III . . . . . 266

年度 2019 学期 3Q	曜日・校時 不定期・V	必修選択 必修	単位数 (1)
科目番号 科目ナンバリング・コード 授業科目名/(英語名)	25074071 DNGD44011990 歯科医療管理学/(Social Dentistry)		
対象年次 6年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 6A	
対象学生(クラス等)		科目分類 特別科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 福田英輝/fhideki@nagasaki-u.ac.jp/口腔保健学准教授室/095-819-7664(内 7664)/火曜 16:30~			
担当教員(オムニバ ス科目等)	齋藤俊行 非常勤講師:井手美和子、清水祐一、立川隆博、重政昭彦(長崎県)、川崎浩二(長崎大学病院)		
<b>授業の概要</b> 歯科医療や歯科保健を社会的な側面から考察する。そのため必要な医療関連法規や制度とその実際の適用について、また政策としての健康づくりや予防医学の基礎について解説する。制度や法律の変化に対応するため、6年時に行う必要がある。歯科医療や歯科保健を社会的な側面から捉え理解する。そのため関連法規や制度とその実際の適用について学ぶ。歯科医師国家試験対策としても大いに役立ててもらいたい。			
<b>授業到達目標</b> 一般目標 GIO: 歯科医療や歯科保健を社会的な側面から捉え理解する。また関連法規や制度とその実際の適用について身につける。			
<b>個別行動目標 SBOs:</b> 1. 歯科医療、歯科保健に関連した法律や制度について説明できる。 2. 地域医療、地域保健を説明できる。 3. 歯科医療に関連した職種と職種間のコミュニケーションについて説明できる。 4. 医療安全について説明できる。 5. 社会保障制度、および社会福祉制度について説明できる。		<b>【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】</b> B-2-1), B-2-2) A-7-1), B-3-2) A-7-1) A-6-2) B-2-2)	
<b>授業方法(学習指導法)</b> スライドを用いた授業形式。併せて資料を補足するが教科書も必携。理解度の確認のため定期考査を実施する。			
<b>授業内容</b> 1 回目: 医療機関のネットワークと情報、衛生学全般 2 回目: 社会保障制度 3 回目: 社会福祉制度 4 回目: 医療法と歯科医師法、医療安全 5 回目: 地域医療等、歯科関連の法律、制度			
キーワード	医療、地域、社会、法律、制度		
教科書・教材・参考書	教科書 口腔保健・予防歯科学(医歯薬出版) 国民衛生の動向(厚生労働省ホームページ)		
成績評価の方法・基準等	筆記試験を行うが、講義によってはレポートを課することがある。		
受講要件(履修条件)	非常勤講師による特別講義が多いので、礼節をわきまえること。また出席を重視する。		
備考(学生へのメッセージ)	試験は国家試験に類似した形式で実施する。 *【講師・日程に変更の可能性があるため注意すること】		
実務経験のある教員による授業科目	・川崎 浩二/大学病院地域医療連携センターのセンター長として、地域医療機関・福祉関係者、医師会、歯科医師会、薬剤師会、行政等との医療福祉連携に携わっている。/医療連携の実際ならびに医療機関とのネットワーク(ICT ネットワークを含む)について指導する。 ・井手 美和子/現役県職員として地域医療政策に関する実務経験/歯科医療や歯科保健を社会的な側面から考察するため必要な医療関連法規や制度とその実際の適用について、また政策としての健康づくりや予防医学の基礎について指導する。 ・清水 祐一/現役県職員として地域医療政策に関する実務経験/歯科医療や歯科保健を社会的な側面から考察するため必要な医療関連法規や制度とその実際の適用について、また政策としての健康づくりや予防医学の基礎について指導する。 ・立川 隆博/現役県職員として地域医療政策に関する実務経験/歯科医療や歯科保健を社会的な側面から考察するため必要な医療関連法規や制度とその実際の適用について、また政策としての健康づくりや予防医学の基礎について指導する。 ・重政 昭彦/現役県医療職員として歯科保健行政に関する実務経験/歯科医療や歯科保健を社会的な側面から考察するため必要な医療関連法規や制度とその実際の適用について、また政策としての健康づくりや予防医学の基礎について指導する。		

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	10	18	金	V	医療機関のネットワークと情報、地域医療計画、地域医療・福祉の現状と地域医療連携の実際について、また診療ガイドラインについて学ぶ。また衛生学全般についておさらいする。	川崎	講義室6B
2回	10	24	木	V	医療法と医師・歯科医師の責務について法令や規則をもとに理解する。 医療安全について法令や規則をもとに学ぶ。 *【講師・日程に変更の可能性があるため注意】	立川 清水 (非常勤)	講義室6B
3回	10	25	金	V	地域医療等について学ぶ。歯科医師の倫理、医療・保健・福祉の現状と関連法規、特に歯科医療、歯科保健に関連した法律や制度について学ぶ。 *【講師・日程に変更の可能性があるため注意】	重政 井手 (非常勤)	講義室6B
4回	11	15	金	IV	医療保険制度・介護保険制度について説明する。	福田	講義室6B
5回	11	15	金	V	社会福祉制度について説明する。また、歯科保健事業と関連ある法規(地域保健法、健康増進法、高齢者医療確保法、介護保険法など)についておさらいする。	福田	講義室6B

年度 2019 学期 1・2Q	曜日・校時 不定期・V	必修選択 必修	単位数 (1)
科目番号	25074702		
科目ナンバリング・コード	DNGD44021990		
授業科目名/(英語名)	基礎歯学輪講/(Basic Dental Science)		
対象年次 6年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 6A	
対象学生(クラス等)	科目分類 特別科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー	真鍋義孝/manabe@nagasaki-u.ac.jp /A棟6階セミナー室/095-819-7627(内7627)/講義の各担当者へ直接尋ねること		
担当教員(オムニバ ス科目等)	渡邊郁哉 ikuyaw@、伊藤公成 itok@、藤田修一 fujishu@、内藤真理子 mnaito@、根本孝幸 tnmoto@、宮崎敏博 miyazaki@、真鍋義孝 manabe@、山口優 yu-y@、山下裕美 hiyamashita@、中村渉 wataru_nakamura@		
授業の概要			
最終学年での歯科の基礎学を再履修することにより、歯学全般の知識を整理・確認する。国家試験の勉強を始めるにあたり、基本的な方向付けの手助けをする授業と位置づけられる。			
授業到達目標			
一般目標 GIO: 最終学年で学科の基礎領域の知識を整理し、臨床との関連性について理解する。			
個別行動目標 SBOs: <span style="float: right;">【平成28年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】</span>			
1. 歯学基礎領域の知識を確認しまとめることができる。 C-1, C-2, C-3, C-4, C-5, C-6, D-1, D-2, E-2, E-3-1), E-3-2)			
2. 基礎と臨床との関連性について説明できる。 C-1, C-2, C-3, C-4, C-5, C-6, D-1, D-2, E-2, E-3-1), E-3-2)			
3. 国家試験対策として活用できる。 C-1, C-2, C-3, C-4, C-5, C-6, D-1, D-2, E-2, E-3-1), E-3-2)			
授業方法(学習指導法)			
各基礎分野から1名の担当教員による講義形式で行われ、概要または国家試験の過去問等を講義形式で解説する。			
授業内容			
1 回目(生体材料学) 歯科理工学に関する知識を整理する。過去の国家試験問題や国試に準じた問題を解きながら、歯科理工学の要点を再確認する。			
2 回目(分子硬組織生物学) 分子生物学・細胞生物学関連分野の基礎知識を整理する。国家試験の過去問を解答し、解説する。			
3 回目(口腔病理学) 過去の国家試験問題を解きながら病理学・口腔病理学を包括的に整理する。			
4 回目(口腔病原微生物学) 微生物学、口腔微生物学の知識を整理する。国家試験の既出題問題を解答し、解説する。			
5 回目(口腔分子生化学) 生化学、口腔生化学の知識を整理する。過去の国試問題を解きながら要点を理解する。			
6 回目(細胞生物学) 組織学・口腔組織学・発生学を復習する。国家試験の過去問を解答し、要点を整理する。			
7 回目(顎顔面解剖学) 解剖学・口腔解剖学の基礎知識を整理する。過去の国家試験問題の出題傾向と対策について解説する。			
8 回目(歯科薬理学) 薬理学、歯科薬理学の基礎知識を整理する。国家試験に準じた問題を解答し、その解説およびその問題に付随する問題点を講義する。			
9 回目(歯科法医学) 法医学・歯科法医学の知識を過去の国家試験問題を解きながら要点を整理する。			
10 回目(加齢口腔生理学) 生理学・口腔生理学の要点を解説する。国家試験の過去問を解答し、解説する。			
キーワード	細胞, 遺伝子, 歯科材料		
教科書・教材・参考書	参考書:今まで使用してきた教科書および参考書		
成績評価の方法・基準等	臨床実習臨床知識理解度試験の基礎系科目の得点が60点以上の者を本科目の定期試験合格とする。		
受講要件(履修条件)			
備考(学生へのメッセージ)	質問等は講義終了直後が望ましいが、後日でも可能なので直接担当教員の研究室を訪ねること。		
実務経験のある教員による授業科目	該当しない。		

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	1	月	V	(生体材料学) 歯科理工学に関する知識を整理する。過去の国家試験問題や国試に準じた問題を解きながら、歯科理工学の要点を再確認する。	渡邊郁哉	講義室6A
2回	4	4	木	V	(分子硬組織生物学) 分子生物学・細胞生物学関連分野の基礎知識を整理する。国家試験の過去問を解答し、解説する。	伊藤公成	講義室6A
3回	4	5	金	V	(口腔病理学) 過去の国家試験問題を解きながら病理学・口腔病理学を包括的に整理する。	藤田修一	講義室6A
4回	4	8	月	V	(口腔病原微生物学) 微生物学、口腔微生物学の知識を整理する。国家試験の既出題問題を解答し、解説する。	内藤真理子	講義室6A
5回	4	11	木	V	(口腔分子生化学) 生化学、口腔生化学の知識を整理する。過去の国試問題を解きながら要点を理解する。	根本孝幸	講義室6A
6回	4	12	金	V	(細胞生物学) 組織学・口腔組織学・発生学を復習する。国家試験の過去問を解答しながら要点を整理する。	宮崎敏博	講義室6A
7回	4	18	木	V	(顎顔面解剖学) 解剖学・口腔解剖学の基礎的知識を整理する。過去の国家試験問題の出題傾向と対策について解説する。	真鍋義孝	講義室6A
8回	4	19	金	V	(歯科薬理学) 薬理学、歯科薬理学の基礎知識を整理する。国家試験に準じた問題を解答し、その解説およびその問題に付随する問題点を講義する。	山口優	講義室6A
9回	5	9	木	V	(歯科法医学) 法医学・歯科法医学の知識を過去の国家試験問題を解きながら要点を整理する。	山下裕美	講義室6A
10回	5	10	金	V	(加齢口腔生理学) 生理学・口腔生理学の要点を解説する。国家試験の過去問を解答し、解説する。	中村渉	講義室6A

年度 2019 学期 3・4Q	曜日・校時 時間割を参照	必修選択 必修	単位数 1.5
科目番号 科目ナンバリング・コード 授業科目名/(英語名)	25074703・25074704・25074705 DNGD44031990・DNGD44041990・DNGD44051990 高次口腔医療学Ⅰ～Ⅲ/(Advanced Oral MedicineⅠ～Ⅲ)		
対象年次 6年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 6B	
対象学生(クラス等)	科目分類		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 角 忠輝/sumi@nagasaki-u.ac.jp/総合歯科臨床教育学教授室/095-819-7750(内 7750)/随時 ※来室前に確認のこと			
担当教員(オムニバ ス科目等)	木村泰男, 多田浩晃, 藤山理恵, 他協力教員		
授業の概要 今まで身につけた知識を整理・統合し、歯科医師に必要な全般的知識を確固たるものとするため、チーム基盤型学習 (Team-Based Learning、TBL) の形式により統合学習を行う。また、基礎系および臨床系各講座が重要項目について解説する。			
授業到達目標 一般目標 GIO: 歯科医師法第9条に基づいて、臨床上必要な歯科医学及び口くう衛生に関して、歯科医師として具有すべき知識及び技能について、その知識および態度を修得する。  個別行動目標 SBOs: 1. 基礎および臨床の多分野にわたる歯科医学の統合的知識を基盤として、症例問題等の課題を解決できる。 2. グループに与えられた課題を効果的かつ効率的に解決するために、十分に準備して授業に臨み、他のメンバーと協調して課題に取り組むことができる。		【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】  (すべてのコアカリ領域をふまえた上で本講義は進められる。)	
授業方法(学習指導法) TBL 形式による相互討論および講義・演習形式による統合学習			
授業内容 (日程については第Ⅰ期開始前に提示する。理解進度によって内容が変更されることがあるので指示には注意すること) 第Ⅰ期(10月) 高次口腔医療学Ⅰ(8回):TaxonomyⅠ想起レベルの課題に取り組み、基本的知識の定着を図る。  第Ⅱ期(11月) 高次口腔医療学Ⅱ(8回):TaxonomyⅡ解釈レベルの課題に取り組み、持てる知識の複合に努める。  第Ⅲ期(12月) 高次口腔医療学Ⅲ(8回):TaxonomyⅢ問題解決レベルの課題に取り組み、知識の応用、統合を図る。			
キーワード	歯科医師法, 歯科医師国家試験		
教科書・教材・参考書	特に指定しない		
成績評価の方法・基準等	授業への出席およびグループ作業への取り組みを総合的に評価する。		
受講要件(履修条件)	臨床実習終了者		
備考(学生へのメッセージ)	6年間の総まとめとなる講義であり、互いを高め合うために積極的な取り組みおよび討議を期待する。医療人を目指す学習者として相応しい態度で学ぶことができる者に限る。(正当な理由なく欠席したり、他の学生の受講の妨げになる等の行動をする者は、評価の対象としないこともある。)		
実務経験のある教員による授業科目	未定。		